



全国曹洞宗青年会の 活動紹介(六十六)

第二五期 国際委員会活動紹介

国際委員会 委員長 神野 太賢じんの たいけん

全曹青国際委員会では、第二五期において青年僧侶の国際意識を刺激し育むことを一つのテーマとし、交流事業だけでなく「国際」に対する知識を深める研修会などを企画してまいりました。

「僧侶の国際活動とは」これからのグローバル社会を生きる僧侶のために」と題した研修会では、講師として南原一貴老師（曹洞宗総合研究センター・常任研究員）、山本英里氏（シャンティ国際ボランティア会・事務局長）、そして村山博雅師（WFBY世界仏教徒



青年連盟・会長）にご登壇いただき、それぞれ国際布教、国際協力、国際交流といった視点で話しいただきました。僧侶が僧侶として海外に出ること、目を向けることが大切であるとお話いただき、そして青年僧侶の今だからこそ様

ざまな経験をして欲しいとのメッセージもいただきました。

また「世界の寺院から」ブラジル編」では、海外で活躍する僧侶とオンラインで繋がりを直接お話を聞く機会を作りました。ブラジルからは田原良樹師とビッチ研道師、またパラグアイからブルーノ正栄師が参加してくださり、普段は窺い知ることができない海外寺院のリアルな姿を紹介いただきました。三師とも三〇代ということで、まさに同じ青年僧侶となります。遠い南米の地にも曹洞宗寺院

があり、そして活躍する青年僧侶がいるということは、私たちにとても大変励みになったと思う

ます。

国際交流としては、韓国の曹溪宗国際伝法団とのオンライン企画

「Korea-Japan Zen Club」を

続けてきました。言葉ではなく「仏教」を共通言語として交流が生まれ、これまでの全曹青にはない新たなご縁を結ぶことができました。今後もこの良縁を活かし、交流を続けていきたいと思っています。

そして、何と言ってもこの第二五期は全曹青創立五〇周年となり、様々な記念事業を行ってきました。その中で

も両大本山報恩拝

登ではWFBY世

界仏教徒青年連盟

の役員の皆さまに

も各国より参列い

ただきました。国



際委員会を中心に法要案内はもち

ろんのこと、移動や食事、また観

光などのアテンドも行い、私たち

にとっても非常に濃密で良い交流

の機会となりました。

ご存じの通り、仏教は世界中で様々な形で発展しています。そして「国際」は決して一部の人のものではなく、私たち一人ひとりも「国際社会の一員」です。全曹青国際委員会では今後も様々な企画を通して、国際社会の一員として歩む僧侶の一助となるよう努めていきたいと思っています。



● 執筆者プロフィール

神野太賢

愛知県第一曹洞宗青年会 所属